

令和6年  
県産品奨励月間標語

### これイイね! 笑顔はじける 県産品

拓伸会会報(隔月発行) 拓南本社内『たくしんNEWS』編集委員会  
〒900-0025 沖縄県那覇市壺川3の2の4 [拓南ビル3F] TEL.098-831-8228 FAX.098-832-0586

【真南風】南から吹いてくる風。オモロ原注に「南風の事」とある。『沖縄古語大辞典』(角川書店)より



# 退職するレジェンドに 後輩たちがセレモニー 拓南商事



レジェンド最後の出勤日に異例のセレモニー。たくさんの後輩たちが駆けつけた

人とのつながりの大切さ。私たちも心がけていきます。拓南商事勤続55年で退職する宮平幸光さん(営業本部営業部第二課購買班担当部長)の出勤最後の日(4月4日)、後輩たちが感謝を込めて異例のセレモニーを行いました。宮平さんは「拓南商事のレジェンド」と呼ばれ、お客様からの信頼が厚く、職員たちから尊敬されてきました。セレモニーには、職員40人以上が参加。宮平氏の長年に渡る功績をたたえ、川上哲史代表取締役社長が感謝状を贈りました。

「たくしんNEWS」にセレモニーの情報提供をしてくれた執行役員の名嘉貞治 営業本部長は、宮平さんのプロフィールを次のように紹介しました。

「宮平さんは、拓南商事の拠点が壺川にあった時代、地元の人との紹介で1969年(当時26歳)に入社しました。主にトラック運転手を務め、スクラップの集荷や拓南製鐵の副資材を運搬し、空き時間があれば、圧延工場の応援に入るなどしていました。西原町に拠点が移った『西原時代』には、営業を任せられ、入札への参加や客先との交渉に奔走しました。廃車が

## 宮平幸光氏の大きな財産

宮平さんの出勤最後の日に行われたセレモニーには、40人以上の後輩たちが駆けつけました。

感謝状贈呈の際、川上社長はあいさつのなかで、宮平さんが皆になぜ頼られるのか、その理由について語りました。

「宮平さんは、人に会ったとき、しっかりと話を聞き、また人が分かりやすいように伝えようとします。そして、大変な仕事も辛抱強く取り組み、諦めない。それを、長年、実践してきました。これが、宮平さんが皆から好かれる奥義です。」

これを、私たちも受け継いでいかなければ。AIやIoT機器などに頼るDXの時代だからこそ、人とのつながりを大切にし



勤続55年で退職した宮平幸光氏

徐々に増え始めたころから、工場内で鉄くずの検収や工場管理を担当しました。宮平さんは『壺川時代』から『西原時代』を経験し、現在では後輩の育成に尽力され、4月30日付をもって退職することになりました」

なければなりません。強固な人間関係を築き上げることが、すばらしい仲間ができる。宮平さんは私たちに、とても大きな財産を残してくださいました」

名嘉本部長が、退職する宮平さんにインタビューをしたやりとりを紹介します。

—『壺川時代』『西原時代』の思い出を。

宮平氏 『壺川時代』は、沖縄海洋博覧会が終わり、そこで使用された建物の解体がピークを迎えていました。スクラップの運搬や工場に戻ってからの加工で、何日も家に帰れないことがありました。また、アメリカから1万トンのスクラップを荷役した時も同じでした。一つ一つの仕事に大きいものがあり、かな

り勉強する機会や時間をいただいたものです。

『西原時代』は、月間2000トン程度だった鉄スクラップの取扱数量が、廃車が徐々に増え始めたために増加していきました。月間3000トンを超えるころには、工場で検収営業をしながら、さまざまな鉄スクラップの選別や加工方法を学ぶことができました。

そのころ、特に思い出に残っているのが、持ち込みをされるお客様とのトラブルが多く発生したことです。收拾がつかないトラブルは、当時の社長や創業者にも何度も助けってもらったものでした。

感謝の思いを持って接し、親身になって話を聞けば、お客様から信頼をいただけることを、このときの経験で知りました。これが、私の、接客営業の原点になっています。

—55年間も、この仕事を続けることができた理由は。

宮平氏 昔も今もですが、この業界は人が面白い。言葉足らずでこわもてのお客様、だまそうとするお客様、不慣れで助けが必要なお客様など、本当にさまざまです。



拓南製鐵・拓南商事  
合同工場見学会

拓南製鐵と拓南商事の合同工場見学会が5月1日に実施されました。そこで、見学会のディレクターを務めた拓南本社の神谷愛里氏に寄稿してもらいました。

バス運行の改善が奏功  
新入社員 フレッシュな風に

拓南本社総合企画部 神谷愛里

今回の見学会は土砂降りのなかスタートしましたが、見学者数は447人で、拓伸会各社の取引先や関係先など多種多様な業種の方々がいらっしやいました。複数名・団体で見学会に参加される

企業が多かったのが特徴的だったと思います。見学会は、バスに乗っていたり拓南製鐵の各作業場を回りますが、前回までは10分間隔で出発し4台での運行だったものを、今

回初めて8分間隔・5台運行にしました。多くの見学者を受け入れる目的での変更でしたが、毎回課題となっているバスの遅れが今回はほとんど無かったため、スムーズな運営と



《1頁より》

私ができることの精いっぱいに対応すると、お客様が喜んでくださる。次に来てくださった際に、私の名前を呼んで相談を持ちかけてくださる。これが、仕事の達成感になっていきました。

また、工場内では、時間があれば、違う部署の仲間と声を掛け、困っていることなどを聞くなどして仲良くなっていきました。

違う部署であっても、親身になって相手の話を聞き、後からでもよいので何かしらの回答すると、すごく感謝されました。逆に、私が困っているとき、部署も違うのに声を掛けてくれて、何度も助けられました。

家に帰って、今日の振り返りをするとき、仲間とのやり取りや助けられたことなどを思い返すとうれしく、そして、楽しく、いつのまにか55年になっていました。

後輩たちへ、メッセージをお願いします。  
宮平氏 この数年間、私は、自分の技術やお客様との接し方などを教えてきました。十分過ぎるくらい後輩たちが育ってくれて、うれしく思います。

宮平さんは退職後、800坪から1500坪に奥様が「増やしてしまっただけ」という耕作地で畑作業が待っているそうです。夫と、収穫した野菜をお孫さんたちに配るのが楽しみだとか。  
レジェンド・宮平さんの置き土産の言葉です。  
「野菜を収穫したら、たまには、野菜の差し入れをしなから皆の頑張りを見に行きたいと思っています。産業界についても必ず行きますよ」

今回の見学会は、今回得られた様々なことを再度検討して、より良い工場見学会にできると思います。

今回は5月開催でしたが、拓伸会の新入社員の皆さんが大活躍してくれました。各社の壁をまたいだ交流ができたことも含め、各所にフレッシュな風が吹き込み、私自身も元気をもらえました。きっとこの雰囲気はお客様にも伝わり、連休の間の平日、しかも天気は良くない中

緊張後にすごい達成感

拓南商事 有銘七美

工場見学会に来てくださったお客様の前で説明することにごく緊張しましたが、終わるとすごく達成感を得ることができました。

最初は先輩方の説明を聞き、良いと思ったところを吸収し、自分にできるのかなど不安もありましたが、やってみると少し頭が真っ白にな



あらためて先輩方を尊敬

拓南商事 幸地海成

今回の見学会は、今回得られた様々なことを再度検討して、より良い工場見学会にできると思います。

これからの様々なことに挑戦し、先輩方を見て学ぶ姿勢やこの最初の気持ちを忘れず取り組んでいきたいです。

今回、初めて工場見学会のスタッフとして参加させていただきました。お客様に伝える立場になることで自分自身も拓南商事について復習でき、初めて学ぶことも多くありました。

工場について説明をする時に緊張してかんでしまったり、言いたかったことを飛ばしてしまったり反省点ばかりでしたが、終わってみると、不思議とスッキリとした気持ちになりました。







### 多様な作業工程を理解できた

沖繩平和祈念財団理事 金城秀雄氏

工場見学を通して、いろいろな作業工程があることを理解できました。モノが完成するまでに、ガス、電気、工業用水などさまざまなものが必要であることが分かりました。ありがとうございます。



沖繩を代表する産業として、官公庁、マスコミ等、また学生(高校生・大学生)にアピールしてください。

### 工場見学ならではの体感

沖繩銀行主任 砂川靖志氏

御社のユーチューブやホームページから製造工程や製品を事前に拝見していたものの、実際の現場を見るこ



とで、空気感、熱、音、働く皆様の雰囲気を知ることができ、工場見学ならではの勉強をさせていただきました。御社の製品は街中でよく見かける建物にも使われており、今後、建物を見ていく中で、自分の知見を広げられる機会となりそうです。

### 100%リサイクル材に感銘

綿半ソリューションズ 大城達郎氏

いままで何気なく使用していた鉄筋の製造工程を学べて勉強になりました。御社の製品が100%リサイクル材で製造されていることに感銘を受けました。大変な環境のなかで鉄筋を製造していることを知りました。それだけに、鉄筋を無駄なく使用するよう心がけていきます。



### 興味深く時間を過ごせた

商工組合中央金庫 シニアアソシエイト 横田 幹氏

初めての工場見学でした。沖繩県の鉄資源の循環を担う現場を目にすることができ、とても勉強になりました。



テント内の展示から各工場の細部にわたる説明まで、興味深く時間を過ごすことができました。

### 電気炉1チャージ分に驚き

おきぎんリース 與儀莉々奈氏

一番驚いたのは、電気炉1チャージ分が、家庭で使用する電力の4年分だったことです。近年、電力不足のニュースで御社が大変と聞いていたので、このことか、と納得しました。御社のためにも、私も節電に頑張ります。



展示ブースも案内担当の方がたくさんいらっしゃり、説明が細かく、分かりやすかったです。

### 講義内容を実際に確認

名桜大学4年生 佐藤 悠氏

大学で学んだ講義(長濱直次非常勤講師)の内容を、実際に足を運んで目にするこ



と学びになりました。家電や車の回収から解体、あらたな鉄の製作まで一工程を分かりやすく説明していただき、記憶に強く残りま

した。そして、あの暑さの中、作業をしている作業員の方々に尊敬の気持ちを抱きました。

### 衛生管理者から話も聞けた

名桜大学4年生 永野未来氏

普段見ることができない解体現場や工場内を見ることができて、とても貴重な体験をすることができました。車の解体作業を実際に見せていただいたとき、その迫りに驚きました。また、シートベルトからバッグを作っていたり、琉球ガラスとコラボをしてグラスを作っていたり、初めて知ることがたくさんありました。

八木佳菜子主任からも説明をしていただき、ほんとうに来てよかったです。

### 感じたことのない暑さ

名桜大学4年生 廣池咲穂氏

普段見ることができない電化製品や自動車の解体作業や、その部品から鉄が造られているところを間近で見ることができ、とても良い経験になりました。また、感じたことのないくらい暑さを体感して、普段からこのような暑い所で作業されていることに驚きました。



これからきちんとリサイクルしていかうとあらためて思いました。

### 安全配慮の工夫に感心

沖繩労働局局長 柴田栄二郎氏

今回の工場見学会は、あいにくの雨の中での見学でしたが、テントが設置されるなど快適に見学することができました。ありがとうございました。

目の前で、重機を使って自動車を解体し、配線やウインドーガラスを取り外し分別する様子や鋳片から鉄筋をかなりのスピードで製

造している様子などを見ることができました。工場内では、鉄筋の放射熱により熱くなった手すりを見学者が触れないよう覆いをかけるといった安全に配慮した工夫も見られました。

皆様におかれましては、引き続き沖繩の経済、ものづくりと併せて、自発的な安全衛生対策を牽引していただければと思います。



(前列左から)北村隆和氏(沖繩労働基準監督署監督課長)、君島誠氏(沖繩労働局総務部長)、古波津会長、柴田栄二郎氏(沖繩労働局長)、八木社長、岡崎暁氏(沖繩労働局労働基準部長)、半田将司氏(沖繩労働局雇用環境均等室長)





# 旨味・DHAに富む「うま藻」 アルガレックスに技術功労賞

## 古波津製造業育成基金

5月



表彰状を手にする濱地氏と座間味氏(前列左)を理事らが祝福



古波津理事長から濱地氏へ表彰状

古波津製造業育成基金(古波津昇理事長)は5月29日、ダブルトリートメント、那覇首里城で開かれた県工業連合会の定時総会で、2024年度(第32回)の表彰式を行った。

「技術功労賞」を受賞した。「製造業起業賞」は該当者がなかった。

同社は、沖縄県健康バイオテクノロジー研究開発セン

技術名称「沖縄の藻と泡盛粕で健康に」のアルガレックス(高田大地代表取締役)

ター(うるま市)内に拠点を置き、AIによって杜氏のよ

うに発酵をコントロールする技術を開発した。その独自の技術により、県内で採取したある藻とアミノ酸豊富な泡盛粕で、旨みとDHAに富む「うま藻」を開発、商品化した。表彰式では、古波津製造業育成基金の中間健康理事が審

## 海のおいしさを未来へ

表彰式に先立ち、「首里の間」フロアで記者会見が行われ、濱地専務が地元2紙の取

材を受けた。濱地専務は次のように述べた上で、記者の質問に応じ

た。「養殖魚のエサに利用されるため、海から、天然の小型魚が減り、大衆魚だった魚が高級魚になってしまっている。危機感を覚え、海のおいしさを未来へつなげるため、藻に着目した。

なぜなら、小型魚にDHA、GABA、アミノ酸系の栄養素を供給している最初の生き物こそ、藻だからだ。一定のクオリティを獲得できる独自の発酵技術によって、県内で採取できる藻とそのエサとなる泡盛粕で、おいしくて健康に良い「うま藻」を開発した。「うま藻パウダー」「うま藻だし醤油」「うま藻醤油油」は「だれもが、毎日、楽しめる」がコンセプトだ。



## 拓南商事を「クガニ認定事業所」に

6月

健康経営を推進する全国健康保険協会(協会けんぽ)沖縄支部は6月13日、「クガニ認定事業所」の認定書交付式を琉球新報ホールで行い、拓南商事の川上哲史代表取締役社長に交付した。

## 協会けんぽ沖縄支部

健康経営を推進する全国健康保険協会(協会けんぽ)沖縄支部は6月13日、「クガニ認定事業所」の認定書交付式を琉球新報ホールで行い、拓南商事の川上哲史代表取締役社長に交付した。協会けんぽ沖縄支部は、「うちなー健康経営宣言」を実施した事業所を対象に2023年度から「クガニ(優秀)・シルガニ(優良)認定制度」「特定健診の受診率」「特定保健指導の実施率」「取り組み状況確認表の回答」の達成度が基準)を発足させた。「クガニ」認定を受けて、拓南商事の健康づくり担当者・福本将希が常務取締役は次のようにコメントした。

## 健康改善意識が向上

常務取締役 健康づくり担当者 福本将希

この度は、協会けんぽより「クガニ認定事業所」認定書の交付をいただき、大変光栄に存じます。表彰基準を見ますと、協会けんぽによる特定保健指導実施率が19年度50%、20年度57%、21年度100%と大幅に伸びており、その点が評価されたものと思います。また、特定保健指導100%については、社員の協力が無ければ達成できない数字なので、社員の健康改善に対する意識変容の表れと感じています。

今後とも健康経営を進めながら、社員がさらに健康に興味をもつお手伝いをしていく所存です。



沖縄大学の山代寛学長(左)から認定書を交付される川上社長



記者会見で質疑に応じる濱地氏





# 記者会見に マスコミ4社 拓伸会

「健康経営優良法人」「くるみん」認定で

5月

拓伸会は5月1日、拓南製  
鐵中部事業所2階会議室で  
「健康経営優良法人」(グル  
ープ全8社)、「くるみん」  
(県内全5社)の認定Ⅱ5月  
号参照Ⅱについて記者会見  
を開いた。

沖繩タイムス、琉球新報、  
沖繩建設新聞、日刊産業新聞  
の4社が出席した。

会見ではまず、拓南本社人  
事部の比嘉洋輔次長が、拓伸  
会県内5社が異業種(鉄鋼  
業・リサイクル業・サービス  
業・不動産賃貸・建設業)で  
ありながら「くるみん」認定  
を同時に獲得できた経緯な  
どを説明した。

続いて、安全統括室の長濱  
直次執行役員室長が、県内で



記者たちのリクエストで被写体に

初めてグループ全社(県内外  
8社)が「健康優良法人」に同  
時認定されるまでの取り組  
みなどについて説明した。  
2氏の説明後、記者たちが  
ら「それぞれの認定に向け  
て」社員への意識づけをどの  
ように行ったのか、「取り組  
み前と後の成果が分かる比  
較データを」「古波津会長に  
今後の抱負を」などの質問や  
リクエストがあった。

掲載記事は左の通り。



(上)産業新聞  
(5月10日付)

(右上)鉄鋼新聞  
(5月10日付)

(右中)琉球新報  
(5月2日付)

(右下)沖繩タイムス  
(5月2日付)

# 新社屋新築工事 地鎮祭

来年7月完成予定

拓南商事

5月

来年7月完成を目指し、拓  
南商事新社屋新築工事の地  
鎮祭(起工式)が5月31日、現  
事務所に隣接する西側の予  
定地で行われた。施主(拓南  
商事)、設計監理(ティ・エ  
イチ・アール建築設計)、施  
工(國場組)、拓伸会会員企  
業の関係者約30人が出席し  
た。

普天間宮の新垣神職の  
と、修祓に始まり祝詞奏上、  
清祓の儀、玉串奉奠など二連  
の儀式が粛々と進められた。

鍬入れの儀には、拓南商事  
の川上哲史代表取締役社長  
、ティ・エイチ・アール建築設  
計の田盛隆博代表者、國場組  
の内間耕代表取締役社長が  
臨んだⅡ写真参照。

閉式後、隣接会場で直会が  
催された。

席上、川上社長が施主あい  
さつに立ち、「これまで培っ  
てきた技術に加え、新しい情



玉串奉奠に臨む古波津昇会長



鍬入れの儀。(左から)國場組の内間社長、川上社長、ティ・エイチ・アールの田盛代表者、新垣神職

報、法律を取り入れ、各世代  
の社員たちがスムーズに交  
流でき、県内の新しい資源を  
皆でつくっていける場とし

て新社屋建設を考えた」と振  
り返り、「完成まで安全な工  
事」と呼び掛けた。

## 3階建て 延べ床面積4倍

新社屋の建設は、創立70周  
年記念事業の一環。7月1日  
に着工し、来年(2025  
年)7月31日に完成予定。

新社屋は、RC造の地上3  
階建て。延べ床面積132  
5・82平方メートル(40  
1坪)で、現事務所(106  
坪)の約4倍。ワンフロアに  
社員全員が集える事務エリ  
アを確保している(フリーア

ドレス化を検討中)。2階は、  
外観に、拓南製作所製作のル  
ーバーを設置予定。3階には  
非常食保管庫、書庫、サーバ  
ー室を設ける予定(BCP対  
策)。屋上は海拔15メートル  
で、災害時に避難タワーの役  
割を担う(325人収容。非  
常時の電源として太陽光パ  
ネルの設置を検討中。

# フルハーネス特別教育

会員企業32人参加 拓伸会

4月

拓伸会主催のフルハーネス(墜落制止用器具)特別教  
育(学科・実技)が4月5日、拓南製鐵本社で行われた。  
会員企業と協力企業から計32人(拓南製鐵10人、鐵鋼処  
理産業1人、拓南商事12人、拓南製作所9人)が参加し  
た。特別教育は学科と実技に分かれ、学科は2階会議室  
実技は津波タワーで行われた。講師は、拓南本社安全統  
括室の長濱直次執行役員室長。受講した拓南製鐵の新入  
社員・知念智香氏に感想を寄稿してもらった。

## 実技で装備着対決

拓南製鐵 知念智香

フルハーネス特別教育は、  
学科と実技がありました。私  
は、実技で、特にチームに  
分かれての装備着対決が  
印象に残っています。

どのチームが一番早く装  
備を着装できるかを競い合  
ったのですが、どのチームも



正しく早く着装できており、  
楽しみながら講習を受ける  
ことができました。

私自身、フルハーネスを使  
用する機会はそう多くはな  
いと思いますが、使用するこ  
とによって救われる命があ  
るということを肝に銘じ、常  
に安全を意識した行動を心  
がけたいと思いました。

\*講師コメント「知念社員  
は、わずかな講習時間で、正  
確に着装できました。また着  
装コンテスト(競争)で、受  
講者中堂々の1位でした」





拓伸会関係者10人1組受賞

5月

沖縄県工業連合会表彰

沖縄県工業連合会(古波津昇会長)は5月29日、ダブル

ツリーbyヒルトン那覇首里城で第40回定時総会を開いた。その席上、優良従業員賞、優秀技能者賞、創意工夫功労者賞の表彰式を行った。拓伸会関係者から10人1組が受賞した。

内訳は、優良従業員賞(全45社74人)7人、優秀技能者賞(8人)2人、創意工夫功労者賞(4人と1グループ)1人と1グループ。席上、古波津会長が表彰状を授与した。

創意工夫功労者賞表彰の際、拓南製鐵の庄延グループ(代表・古市純也氏)と拓南商事の金城誠氏が他社の受賞者3人とともに登壇した。

各社の受賞者とコメントは下記の通り。

〈優良従業員賞〉

○拓南本社

大城 豊氏

「拓南グループ皆様のご協力ご指導のおかげで、受賞につながりました。より一層、受託業務のサービス向上にまい進してまいります」

○拓南製鐵

照屋貴浩氏

「この度は素晴らしい賞をいただき光栄に思います。これからは賞の名に恥じないよう精進して頑張りたいです」

喜友名翔太氏

「この度は素晴らしい賞をいただき、うれしく思います。これからも気を引き締め、安全第一で頑張っていきます」

○拓南商事

中村明史氏

「賞をいただいたのは、上司や先輩方からのご指導のおかげです。これからも安全第一で仕事に励みますので、ご



祝福に駆けつけた拓伸会関係者とともに。(受賞者のみ前列左から)大城豊氏(本社)、中村明史氏(商事)、玉寄真也氏(商事)、金城誠(商事)、(後列左から)喜友名千加子氏(製作所)、具志和哉氏(製鐵)、照屋貴浩氏(製鐵)、古市純也氏(製鐵)、山野要氏(製作所)



(左から)「創意工夫功労賞」を受賞した拓南製鐵庄延グループ(代表・古市純也氏)と拓南商事の金城誠氏(中村明史氏が代理で登壇)

指導よろしくお願ひします」

大嶺安弘氏

「このような賞をいただき大変光栄です。これからも会社に貢献して頑張っていきたいと思ひます」

○拓南製作所

喜友名千加子氏

「この度は、賞をいただきありがとうございます。まだまだ未熟ですが、今後も真摯に仕事に取り組み、周囲の皆様との輪を大切に、共に成長していきたいです」

山野 要氏

「優良従業員をいただき、大変うれしく思ひます。これからも初心を忘れることなく、仕事にまい進していきま

すので、よろしくお願ひ致します」

○拓南製鐵

具志和哉氏

「このような賞をいただき、とても光栄です。この賞に恥

じめよう、これからも日々精進していきます」

○拓南商事

玉寄真也氏

「この度は、素晴らしい賞をいただき光栄に思ひます。さらなる技術向上と安全作業で頑張ります」

○創意工夫功労者賞

○拓南製鐵

庄延グループ(代表・古市純也氏)

「この賞は、作業員全員が一致団結し、創意工夫をして得られたものだと思ひます。これからも、より良い環境作りのため頑張ります」

○拓南商事

金城 誠氏

「長きにわたりELV班で仕事をし、班員と工夫しながら取り組んできたことが評価されうれしく思ひます。これからも班員、社員で協力し、リサイクルに取り組んでいきます」

拓伸会の3人を表彰

日本クレーン協会沖縄県支部

5月

(二社)日本クレーン協会

沖縄県支部は5月17日、第13回定時総会をオリオンホテル那覇で開き、席上、従業員表彰を行った。

拓伸会会員企業から、下記の計3人が表彰された。

【拓南製鐵】

☆優良クレーン運転業務従事者

平敷武彦氏

☆優良玉掛け業務従事者

知念秀和氏

【拓南製作所】

☆優良玉掛け業務従事者

知花達也氏

被表彰者を代表して、平敷武彦氏が次のように感想を述べた。

「表彰されて大変うれしく思ひます。これからも安全第一に、精いっぱい頑張ります」

拓伸会から各社幹部やOBなど14人が駆けつけ、3人を祝福した。

4ラウンド法を初訓練

KYT教育 拓南本社安全統括室

4月

拓南本社安全統括室は4月3日、KYT(危険予知訓練)教育を拓南製鐵中部事業所で実施した。KYTとは、危険のK、予知のY、訓練(トレーニング)のTを連ねた危険予知訓練の略称。

受講者は、拓南本社2人、拓南製鐵8人、拓南商事13人、拓南製作所19人の計42人で、各社の新入社員および受講が必要だと安全衛生担当が判断した在职者。加えて、安全管理者など各社の安全担当も講師補助員として参加した。

危険予知訓練は、作業や職場に潜む危険性や有害性等の危険要因を発見し、解決する能力を高める手法で、住友金属工業で開発された。その後、中央労働災害防止協会が「問題解決4ラウンド法」と結びつけ、さらに、旧国鉄の伝統的な安全確認手法である指差し呼称を組み合わせて「KYT4ラウンド法」として標準化された。

今回、拓伸会で初めて「KYT4ラウンド法」の訓練を実施した。講師は、拓南本社

安全意識向上につながる

拓南商事安全衛生委員会 與那嶺史矩

今年で、入社2年目になる。これまで、いくつかの労働災害を見てきた。職場には危険が潜んでおり、行動する前に危険を把握し、常に「起きるかもしれない」という予知を行わないといけない。そのために、今回受講した危険予知トレーニング(KYT)を生かして、作業現場の危険箇所を予知し、班員で共有していくことが必要になっていく。これは、ゼロ災1000日達成に必要であり、一人一人の安全に対する意識向上につながると思った。

今後、私は安全衛生委員会のスタッフとして特に安全に携わっていくが、危険予知を徹底し、労働災害がない職場環境づくりの一員になっていきたい。



指差し呼称の練習。左から4人目が與那嶺氏

拓鐵事業協同組合に優良組合表彰

県中小企業団体中央会

6月

沖縄県中小企業中央会は6月13日、ダブルツリーby

の席上、表彰式が行われ、拓伸会の拓鐵事業協同組合が「優良組合の部」で表彰された。

席上、岸本勇会長が、古波津昇代表理事へ表彰状を授与した。

表彰理由を「貴組合は組合員一致協力して業務の発展に尽力され、その業績は極めて良好であり、他の組合の模範である」としている。



古波津代表理事(左)をはじめ表彰状を手にする被表彰者



### ギロチンプレス機、1月稼働

安全祈願祭 薩南物産

5月

薩南物産は5月24日、同社構内で、リプレースするギロチンプレス機の基礎設置工事を開始するにあたり安全祈願祭を行った。

谷山神社の宮司により修祓之儀、祝詞奏上、玉串奉奠など一連の儀式が粛々と行われた。地鎮之儀では、盛砂に、古波津昇代表取締役会長が齋籬、渡辺組の渡辺紘起代表取締役会長が齋籬を入れた。日高勝代表取締役副社長は、更新する最新鋭機について次のように述べた。



「産業新聞」5月28日付

5月28日付「産業新聞」は、リードで「安定操業体制の強化を目指してせん断機をリプレース」と報じ、本文で、導入する最新鋭機について「切

### ラジオ体操指導者講習会に参加

ブライト500取得に向けて 拓伸会

4月

NPO法人・全国ラジオ体操連盟は4月28日、2024年度春季ラジオ体操指導者講習会を沖縄市泡瀬第三公民館で開催した。拓伸会から、健康経営優良法人ブライト500取得に向けて拓南本社2人、拓南商事1人の計3人が受講した。受講した拓南本社の田名俊徳氏に感想を寄稿してもらった。

### 正しいラジオ体操を広める

拓南本社ESG推進室 田名俊徳 拓伸会健康経営優良法人事務局

この講習会は、正しいラジオ体操を地域や会社で広めるための指導者教育を目的とするものでした。

講習会では、テレビ等で活躍されているインストラクターから「みんなの体操」、

「ラジオ体操第一・第二」を習いました。それぞれ、ポイント、テクニク、注意点などを中心に行う実技指導でした。今後は、正しいラジオ体操を行い、習ったことを広めな

### インダストグランプリに参加

拓南商事

2月

沖縄県産業資源循環協会主催による初のINDUST Tグランプリ(産業廃棄物業技能大会)が2月14日、豊崎海浜公園美らSUNビーチで開かれた。参加した拓南商事は同協会の会員で、川上哲史代表取締役が理事(5月に副会長就任)を務めている。イベントは、技能のさらなる向上とやりがいの創出により将来的な技能継承につなげ、また、多くの来場者に

断スピードは1分間に4回と、標準型の40%の処理能力アップ。また、電動機容量は40%削減し、高効率と環境負荷低減を両立したモデル」と紹介している。



右が田名氏。著名なインストラクターたちと拓伸会参加者

から、自身だけでなく共に働く人たちの健康増進にも努めていきたいと思っています。この講習会は、だれでも無料で参加可能です。秋にも開催されますので、指導者を目指す社員やラジオ体操の上達を目的とする社員の申し込みをよろしく願います。

### 研削砥石特別教育 実施

3社から44人参加 拓伸会

5月

拓伸会は5月7日、6回目のグラインダー(自由研削砥石)特別教育(学科・実技)を法令に基づいて実施した。拓南製鐵14人、拓南商事17人、拓南製作所13人の計44人が受講した。

### 使用時に潜む危険性

初めてグラインダーを知りました。実際に機械を動かしてみても、グラインダーの重さや振動によって手がびびる感覚、使用時に潜む危険性を感じました。少しの気のゆるみが事故につながってしまうと思いました。日頃から気を引き締め、業

### 研削砥石特別教育 自社で

拓南商事

5月

拓南商事は5月28日、研削砥石特別教育を実施した。ディレクターは、企画開発室室長代理の名波和幸課長と製造部家電リサイクル課の前田久喜氏が務めた。自身も受講した名波課長に寄稿してもらった。

### 苦い経験をもとに企画

企画開発室室長代理 名波和幸

拓南商事は、当社が初めて企画、運営する研削砥石(グラインダー)特別教育を5月28日に行いました。当社独自で実施しようと考えたのは、グラインダーが身近な工具で、操作も簡単であり、私自身もよく作業に使用していましたが、去る1月

にそのグラインダーで負傷してしまいました(幸い大事には至りませんでした)。私は特別教育を受けていませんでした。また、別の社員も、研削作業時に負傷する災害が発生してしまいました。

この苦い経験をもとに、商事社員約80人を対象に、拓伸会事務局の協力を得て、今年度未受講の社員全員に実施しよう企画しました。私の経験から言えることは、安全な作業のためには機



械の特性や危険性を正しく理解することが大事です。特別教育を受講して、これまで知らなかったグラインダーの特性や正しい使い方などを学ぶことができました。

『ゼロ災害1000日』を達成し、一緒に働く仲間が笑顔でいるためには、安心かつ安全な職場づくりが必要となります。そのためには、全員が正しい知識を保有し、互いに補完しあえるような環境を作りたいと思います。





### 新入社員に安全衛生教育

拓南本社安全統括室

4月

拓南本社安全統括室は、入社式が行われた4月1日、拓南製鐵本社中部事業所で、拓伸会会員企業の新入社員 5月号8〜9頁参照IIを対象に「新入社員雇い入れ時安全衛生教育」を行った。講師は長濱直次執行役員室長。受講した拓南製作所の新入社員・上原玲央氏に感想を寄稿してもらった。

### 安全意識を高める「指差し呼称」

拓南製作所 上原玲央

4月1日、拓南製鐵の大会議室で「安全衛生教育」を受けた。安全意識を高めるために「指差し呼称」をすることが最も効果的で、安全作業に直結するのだと学ぶことができました。一つ一つの行動に「よし」と指差しすることで未

然に事故を防ぐことができ、安全にケガなく仕事をすることが出来ます。教育を受けて、安全意識をより高めることができました。ちょっとした緩みが大きな事故につながる恐れがあります。労働災害を起こさないようにしっかりと「指差し呼称」を実践して、楽しく仕事ができるようにしていきたいらよいと思えました。



### 平安座ハーリー大会に参加

拓南製作所

6月

毎年恒例の平安座ハーリー大会が6月9日、金武湾港平安座南港湾内で行われ、熱

戦を展開し、会場から大きな声援が送られた。拓南製作所からは2チームが参加した。拓南製作所業務部業務課の知念直成課長代理が次のように振り返った。

「天候はあいにく雨模様でしたが、普段は顔を合わせる機会が少ない各事業所の皆さんに多数参加してもらいました。みんなでバーベキューも行い、良いコミュニケーションが取れたかと思えます。」



「大会は64チームの参加があり、拓南製作所からAチームとBチームが参加しました。いずれも結果は下位となつてしまいましたが、みんなで応援し、楽しく過ごせました。来年も参加予定です」



下位だったが拓南根性で力漕

### 酸素フロント導入記(5) 旅立ち前の表情

黒島 善茂

酸素フロント導入記(5) 旅立ち前の表情。渡米する日が近づくにつれて、さすがに能天気な小生も語学力の無さがプレッシャーとなって重くのしかかってきた。

そんな気配を感じたのか、屋宣行専務は、お嬢さんの学習用テープレコーダー(当時は大変な高級品)を「出発まで使いなさい」と貸してくださった。

妻もまた、小生が海外に行くのも飛行機に乗るのも初めてで、そのうえ英会話に悪戦苦闘しているのを見て、ポケットサイズの「英

当日、その場所には、すでに多くの米軍家族が集まり、米国留学する20人余のエリート集団も談笑していた。その集団の周りには、家族や激励してきた友人たちによつて華やかな雰囲気がついていた。

妻は「気を付けて頑張ってきて」とは言ったものの、心細さと不安が入り混じった得も言われぬ顔で見送つ

てくれた。

真夜中の0時、ノースウエスト機がサンフランシスコへ向けて飛び立った。初体験したジェット機の感想は「広くて乗り心地が良く、意外と静かで快適だなー」だった。

緊張感が薄らいだのか、いつしかうとうとしていたが、機内アナウンスで目を覚ました。アナウンスは「間もなく日付変更線を越えます」(以後、英語の解釈は手前勝手な解釈であることを断っておく)と言っていた(と思う)。

外はすでに真昼、機窓から見下ろすと太平洋の大海原がキラキラ輝いて見えた。ぼーっと眺めていると、

創業者の言葉が脳裏に浮かんできた。「知識や学力は必要だが、それを活かす知



安全祈願と新婚旅行を兼ねて1泊2日の北部一周(東村の海浜にて)

恵こそ肝要「勇気と信念を持ち、粘り抜き、あきらめてはならない」などであった。

今まで「なんくるないさー」と軽く考えていたのだが、何としても成し遂げたいという心構えで臨むことにした。

だが、よもや思いもよらぬ珍道中にならうとは……。(拓伸会 前名誉会長)



2024年 5月1日〜6月30日 \*一部、未紹介分も掲載しています。

### 人事・往・来

#### ☆役員人事

〈拓南商事〉 平田 要 代表取締役副社長 4月15日

「この度は代表取締役への就任、身の引き締まる思いです。拓南商事は200人を超える仲間の組織となり、大所帯の会社へと成長しました。当社の沖縄県における役割は非常に大きいと考えておりますので、地域のニーズをとらえ、対応すべく精進してまいりますので、拓伸会の皆様、ご指導、ご鞭撻をよろしく願います」

#### 〈拓南製作所〉

奥平 勉 代表取締役副社長 4月15日

「この度、代表取締役として選任していただき、身の引き締まる思いです。重責を担いますが、拓伸会の発展に全力を尽くし、貢献していく所存です。今日まで頑張られてくれたのも、多くの方々のご支援のおかげです。そのご厚意に深く感謝し、これからも精進してまいります」

### 拓南余話 16

